



「おととい」と「おとつい」はどうちがうの

どちらも「一昨日」のこと

「おととい」は、「一昨日」と書き、昨日（きのう）の前の日を表します。一方、「おとつい」も「一昨日」と書き、昨日の前の日を表します。つまり、「おととい」も「おとつい」も、同じことをいっています。言い表し方の発音がちがうだけです。

標準語では、ふつう「おととい」

標準語では、「一昨日」は、ふつう「おととい」といいます。

「おとつい」という言い方は、西日本を中心に使われていて、どちらかという、西日本の方言（ある地方だけで使われていることば）的なことばといえます。

ことばの使い方は、それぞれの地方で古くから伝えられてきたものであり、どちらが正しいと、きめつけられるものではありません。（監修・田代 脩）

